

ステップ1  
「電話で了解をとる練習をしましょう」

- 家庭訪問してよいか、保護者・子どもにも確認をとる
- 訪問の日時をはっきりと伝える。
- 直接会えない場合、「声だけでも聴けてよかった」と、こちらの気持ちを伝える

ステップ2  
「家庭訪問の練習をしましょう」～具体的方策～

- 最初はできるだけ、短い時間で終える
- 登校に誘ったりせずに、子どもの趣味など、たわいもない話をして関係づくりに努める
- 子どもが会いたがらない時は、決して無理強いをしない。(そしてがっかりしない)

<資料4-5>

33

ステップ3  
「家庭訪問のポイント」

- 学校はあなたのことを忘れていないよ」というメッセージを伝えること
- 短い時間で、定期的に訪問する(先細りしないように)

先生が来るのを楽しみにしたら、成功の第1歩

34

振り返り

- 自分のペースを大事にしてくれているか
- 話しやすい雰囲気があったか
- 距離感は適切だったか
- 入りこまれている感じはなかったか
- 話をして嫌な感じはなかったか

35

☆明日からできること  
～若手の良さをいかして～

- (子どもにとって)  
安心できる存在となる
- 日頃からまめに声をかける
- 自分の良さを生かしてチーム支援

36

引用文献・参考文献

上手な登校判断の与え方 小澤美代子  
 机上での登校判断の与え方 小澤美代子  
 不登校予兆と支援のA70 笠野純  
 不登校にしない先生・登校を支援できる先生 小林正幸・大橋麗士  
 エンカウンターで不登校対応が変わる 片野健治・川端文治・佐々亮平・山下みどり  
 文部科学省(2012)平成22年度「児童生徒の問題行動等の子供指導上の課題」に関する調査 について  
 三重県教育委員会(2011)公立小学校及び中学校における不登校の状況等  
 名古屋市教育委員会(2011)新しい時代を切り拓く子ども-名古屋市学校教育白書  
 名古屋市教育委員会青少年育成推進室(2010,2011)公立小学校中学校における不登校の状況

**不登校児童生徒への理解を深める支援方法に関する一考察  
～若手教員に焦点をあてて～**

[執 筆 者] 四日市市適応指導教室 指導員 渡辺 由紀  
四日市市適応指導教室 指導員 古森 ゆかり  
四日市市適応指導教室 指導員 市森 幸子

[指導・助言] 国立教育政策研究所 総括研究官 松尾 知明

---

---

研究調査報告 第 391 集

**不登校児童生徒への理解を深める支援方法に関する一考察  
～若手教員に焦点をあてて～**

発 行 平成 25 年 3 月 19 日  
発行所 四日市市教育委員会教育支援課  
四日市市諏訪町 2 番 2 号  
電話 (059) 354-8149  
FAX (059) 359-0280

---

---